

あなたを赦す神

日本基督教団
 塚口教会
 〒661-0012
 尼崎市南塚口町
 2丁目34-3
 電話 06-6429-3019

あなたの罪は赦された

ルカによる福音書五章一七―二六節

沖村裕史

突然、部屋の天井に穴があきます。当時の、この地方の家の天井は主に、土で出来ていますから、土のかけらや埃が人々の頭の上にパラパラと落ちて来たことでしょうか。みんながあつげに取り残られていると、天井の穴はますます大きくなり、そこから、一人の病人を寝かせた床が吊り降ろされてきます。さて、これを見て、イエスはどんなさつたか。二〇節です。

「イエスはその人たちの信仰を見て、『人よ、あなたの罪は赦された』と言われた。」「その人たちの信仰を見て」とあります。イエスはその時見ていたのは、瓦を引きはがし、屋根をこわして、病人を吊り降ろす男たちの行為でした。破壊的で、暴力的で、犯罪的でさえある行為です。そのどこに、「信仰」が見えるのでしょうか。イエスがこの時、この人たちの中に見た「信仰」とは、一体何なのでしょうか。

何度かお話をしてきたことですが、「信仰」と訳された言葉の意味について、確認しておきたいと思えます。日本語訳の聖書はいずれも、ギリシア語のピステイスを「信仰」と訳します。この「信仰」という日本語は、「信じ仰ぐこと」と書く通り、何かを信じて

仰ぐ態度、敬虔なその行為を表わすものです。しかしこのピステイスは本来、「本当に信ずるに足る確かなもの」「疑う余地のない事実」「誠実で信頼の置ける態度」「見るからに本気で一途でひたむきなさま」を意味する言葉です。

この人たちは、寝たきりの友人を何とかして治してやりたい、身体を全く動かすこともできず、ただじつと暗い絶望のまなざしを天上に向けてるしかないこの友人を、その苦しみから、その絶望から解放してやりたい、と必死だったのでしょうか。何を言われようがかまわない。この人の願いを叶えたい。病氣のために罪人呼ばわりされ、人々からのけ者にされるこの友を、何とかしてその苦しみや屈辱から救い出したい。ただその思いに駆られて、必死に、ひたむきに行動した、その結果がああ天井破りの荒技でした。

イエスは、彼らのそのひたむきさ、本気さを見て言われたのでした。

「人よ、あなたの罪は赦された」。

聖書の語る罪とは、私たちが日々犯す、個々の過ち、不正、隣人を傷つけてしまうような一つひとつの言葉や行いのことではありません。それらの根本にあるもの、それらすべてを生み出している源、それが罪です。「ハイデルベルク信仰問答」はそれを、生まれつき、神をも隣人も憎んでしまう、私たちの在り様のことだ、と書きます。神を愛するのではなく憎んでしまうこと、それが罪だと言います。神を憎む。神の御心

に従おうとしないということです。神が造り、いのち与えて、愛し、生かしてくださいと、その御心に逆らって、造られ、いのち与えられた自分自身を憎んでしまうこと、自分が今ここでこのような者として生かされ生きていることを喜び受け入れることができないという思い、それが神を憎むということ。神を憎む時に、私たちが、神がいのち与えられた隣人も喜び受け入れ、愛することできなくなるのは当然のことです。自分のことを愛せず憎むのですから、隣人に対して嫉妬したり、その裏返しとして隣人のことを軽蔑したり、いよいよ隣人を憎み、よい関係を築くことができなくなり、その関係を破壊してしまうことさえあります。

そのような罪を、私たちはどうすることもできません。罪は、神がそれを赦してくださることによってしか、解決できません。なぜなら、神を憎むことが罪なのですから、そんな私たちが、それでもなお、神が愛してください、その愛によって憎しみを取り除いてください、私たちと新しい、よい関係を結んでくださいと限り、その罪は残るからです。神が私たちを赦してください。それが罪の赦しです。

「あなたの罪は赦された」というこの御言葉が神から与えられることによって初めて、私たちは神を愛し、また隣人も愛することができるようになる、その可能性が開かれます。それが、イエスによって与えられる救いです。イエスは、この救いをこの人に宣言してくださいだったので。それは、この人だけでなく、私たちすべての者が本当に必要としている救いではないでしょうか。イエスが人々に教え、語っておられたのは、この救いの到来なのです。

しかも「救われた」というこの言葉は受

動態完了形で記されています。「人よ、あなたはもうとつくに赦されている」と訳してよい言葉です。四章二一節で、イエスが「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と語られたように、「あなたの罪は赦された」というこの宣言は、この福音は、主の恵みによる解放が今ここにもう実現している、もたらされていることを告げる御言葉なのです。

ところが、この言葉を聞いた法律学者やフアリサイ派の人々は、心の中で、「これは問題だ」と思いました。「あなたの罪は赦された」などと言う、この男は自分を何者だと思っているのか。神の他に、人間の罪を赦すことができる者などいるだろうか。神にしかできないことを自分がするかのよう宣言するのは、イエスは神を冒瀆している、それが彼らの思いでした。

その通りです。赦すことができるのは神だけであるとは、裁くことも救うことも、それがおできになるのは神だけである、ということ。人間には、裁くことも救うこともできません。しかし、そう思っているはずの法律学者やフアリサイ派の人々が、中風の人を罪人と見做して、裁いています。それこそ冒瀆です。裁くことも赦すことも、人間にはできません、してはなりません。

この後、担がなければならない者が担ぐ者へと変えられ、神を賛美しながら帰って行ったように、神の御子イエスの「あなたの罪は赦された」というこの宣言によってのみ、私たちは、神と隣人とを憎んでしまう罪から解放され、神を愛し、隣人を愛して生きることができる、本当の自由を「もうすでに」与えられているのです。感謝です。

(二〇一七年十一月一九日、終末前主日礼拝)